



山陰道「赤碕中山IC～名和IC」 開通1年後の整備効果について

～つながった山陰道、倉吉から米子までより身近により便利に～

【企業活動・インバウンド観光に貢献】

平成25年12月21日(土)に開通した、山陰道「赤碕中山IC～名和IC」が開通後1年経過しました。この度、開通後1年の交通状況と開通に伴う整備効果を取りまとめましたのでお知らせします。

【主な整備効果】

○企業活動の支援(別添1～3)

- ・山陰道の開通により、代替機能が確保され物流活動における安心感の向上、通勤圏域の拡大、物流の効率化など、沿線地域の企業活動に貢献。
- ・山陰道によるアクセス向上により、沿線地域の新規企業進出が進むなど、民需の拡大に貢献。

○広域観光の支援(別添4～5)

- ・山陰道の開通により、日帰り圏域の拡大に伴う観光ツアーが増加。
- ・境港や米子鬼太郎空港から入国する外国人も増加するとともに、鳥取県中部地域を訪れる外国人も増加するなど、インバウンド観光にも貢献。

○日常生活の利便性・安全性の向上(別添6～8)

- ・山陰道の開通により、中部地方生活圏の住民の行動範囲が拡大、買い物頻度が増加、住民の利便性が向上。
- ・山陰道の開通により、交通量の分担が図られ、現道部での事故が減少したことで、通学する児童の安全性が向上するなど、近隣住民の安心感が向上。

【利用状況】(別添9～10)

- ・「赤碕中山IC～名和IC」の交通量(H26.10)は、平日:13,200～15,200台/日、休日:16,700～18,100台/日
- ・7割以上の交通量が山陰道を利用。

○お問い合わせ先

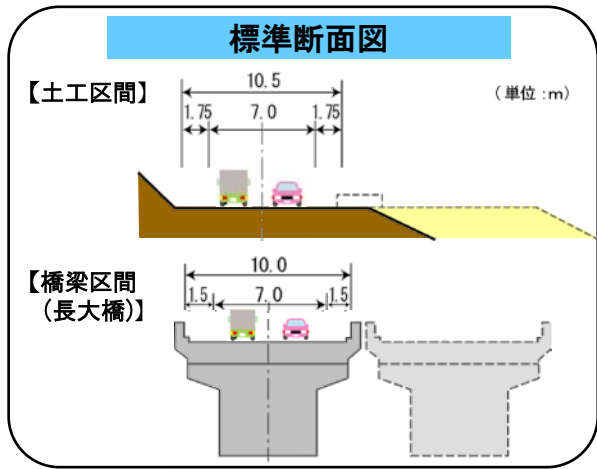
国土交通省中国地方整備局 倉吉河川国道事務所 TEL 0858-26-6221 (代表)
副所長(道路) 安野 聡 (やすの さとし)
(担当) 調査設計第二課長 小田 嘉幸 (おだ よしゆき)

倉吉河川国道事務所ホームページアドレス: <http://www.cgr.mlit.go.jp/kurayoshi/>

山陰道「中山・名和道路」「名和・淀江道路」の事業概要

～山陰道（赤碕中山IC～名和IC）の事業概要～

- 「中山・名和道路」「名和・淀江道路」は、交通混雑の緩和や災害時における緊急輸送路の確保の他、山陰の地方都市間の連携を強化し、地域の活性化や交流促進に寄与することなどを目的とした自動車専用道路です。
- 大山町八重（赤碕中山IC）から大山町名和（名和IC）までの延長8.6km区間が**平成25年12月21日に開通**しました。



事業の経緯

区 間	名和・淀江道路			中山・名和道路
	淀江IC～大山IC	大山IC～名和IC	名和IC～大山町下市	大山町下市～赤碕中山IC
年度				
平成8年度	事業着手			
平成9年度	都市計画決定(平成10年3月)			
平成10年度	用地着手			
平成13年度	工事着手			
平成18年度			事業着手	
平成19年度	開通(平成19年9月)	開通(平成20年3月)	用地着手・工事着手	事業着手
平成20年度				用地着手
平成21年度				工事着手
平成25年度				平成25年12月21日開通

開通区間の概要

		名和・淀江道路	中山・名和道路
起 終 点	起 点	とっとりけん さいはくぐん 鳥取県西伯郡 だいせんちょうしもち 大山町下市	とっとりけん さいはくぐん 鳥取県西伯郡 だいせんちょうやえ 大山町八重
	終 点	とっとりけん さいはくぐん 鳥取県西伯郡 だいせんちょうやすはら 大山町安原	とっとりけん さいはくぐん 鳥取県西伯郡 だいせんちょうしもち 大山町下市
延 長		12.1km	4.3km
幅員(土工区間)		10.5m	10.5m
車 線 数		暫定2車線	暫定2車線

(1) 企業活動の支援①

～山陰道（赤碕中山IC～名和IC）の整備効果～

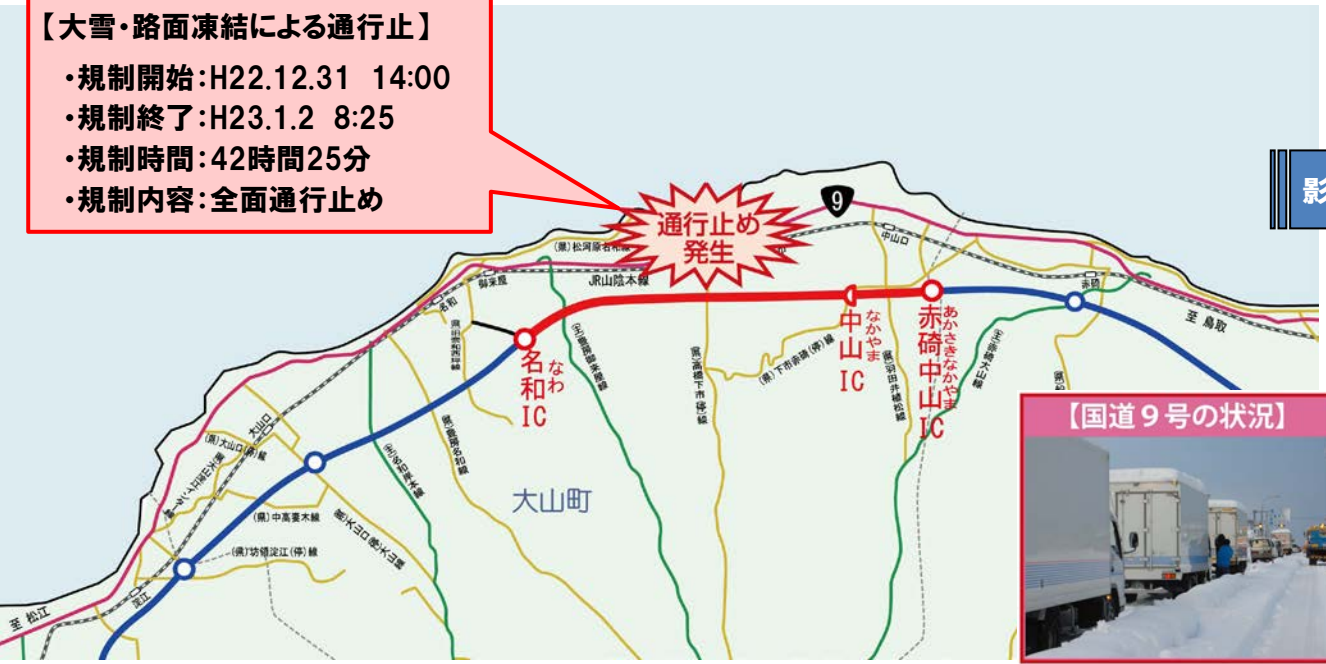
(開通前):平成22年度の積雪における国道9号の通行止めで、企業活動に様々な支障。

(開通後): 山陰道の開通により、代替機能が確保され、**確実な企業活動**や、**地域住民の日常生活の安心感**に寄与。

平成22年度の積雪における国道9号の通行止め

【大雪・路面凍結による通行止】

- ・規制開始:H22.12.31 14:00
- ・規制終了:H23.1.2 8:25
- ・規制時間:42時間25分
- ・規制内容:全面通行止め



国道9号の通行不能時における影響

(開通前)
 ・開通前の通行止め時には、企業活動に様々な支障が生じていました。

(商品：出荷面)
 ・大雪で通行止めとなった際、トラックが遅れ、または立往生となり、納品が大幅に遅れ、一部の商品は欠品扱いとなりました。

(生乳：入荷面)
 ・一部の集乳車(タンクローリー車)が遅れ、または立往生となり、集乳業務が大幅に遅れるなど、支障が生じました。



【国道9号の状況】



(大山乳業農業協同組合へのヒアリングより H26.12)

代替機能の確保による安心感（物流業者）

(開通後)
 ・代替機能が確保されたことにより、物流活動における安心感が向上しました。

【代替機能の確保によるコメント】

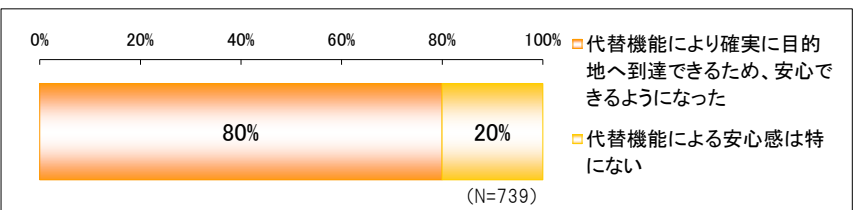
- ・山陰道が通行不能にならない限り、確実に搬送できるため安心できます。【大山乳業農業協同組】
- ・災害時に、国道9号（現道）と山陰道の2本あると、迂回路となります。【上田コールド】



(大山乳業農業協同組・上田コールド(株)へのヒアリングより H26.12)

代替機能の確保による安心感（地域住民）

・地域住民の約8割の方が、代替機能が確保されたことにより、確実に目的地へ到達できる日常生活の安心感が向上したと感じています。

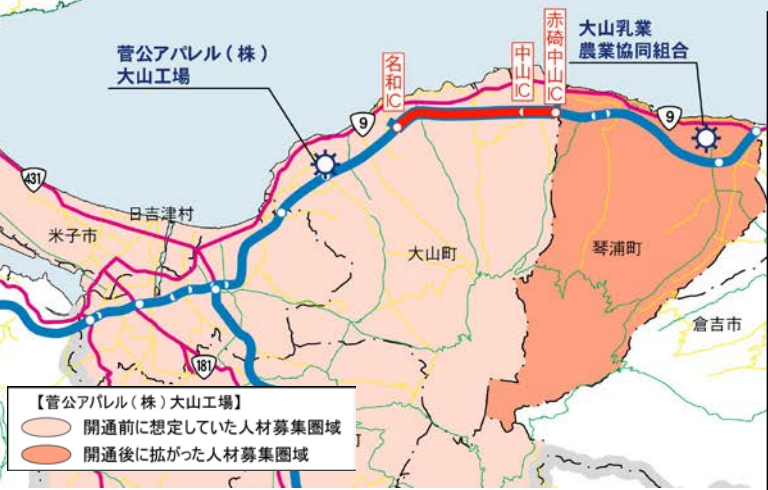


(住民webアンケートの調査結果より H26.11)

(1) 企業活動の支援②

～山陰道（赤碕中山IC～名和IC）の整備効果～

- ・山陰道整備による**アクセス性の向上は、通勤圏域の拡大に寄与。**
- ・**高速道路のネットワーク化は、物流の効率化を促し、企業活動の支援にも貢献。**



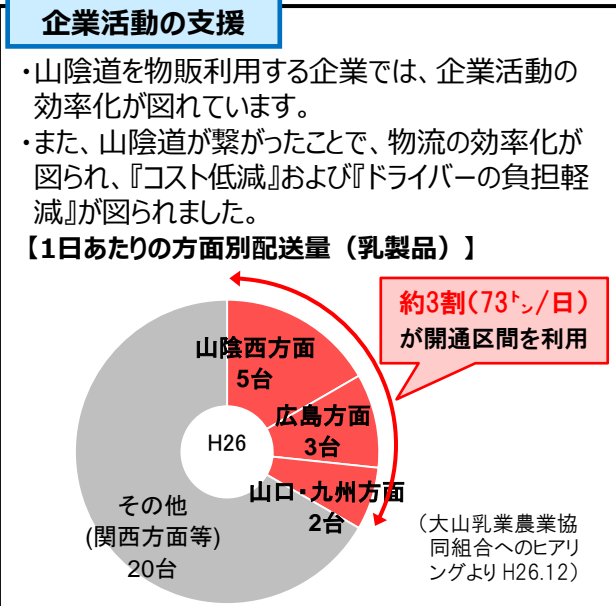
通勤圏域の拡大

・通勤圏域の拡大に伴い、人材募集の圏域も広がっています。

【通勤圏域の拡大に関するコメント】

- ・当地域へ新たに企業進出するうえで、**開通により通勤圏が拡大されたため、人材募集（確保）がやりやすくなりました。**
- ・現在、従業員数85名のうち、約1割が「赤碕中山IC～名和IC」間を通勤で利用しています。

(菅公アパレル(株)大山工場へのヒアリングより H26.12)



今後の山陰道整備に関する期待感

【現状】

- 1 関西・広島・福岡方面から荷物が到着
- 2 荷物の積み込み作業
- 3 主に「鳥取市・倉吉市エリア」に配送

【想定】

山陰道が全通したら配送可能なエリア

【凡例】

- 開通済
- 現時点の配送エリア

【今後の山陰道整備に関する期待感】

- 今後、山陰道の未開通区間が解消された場合には、時間短縮や代替路確保の観点から、現状の営業エリア内での効率アップが図られると思います。
- また、未開拓エリア（兵庫県北部）へのアプローチも可能となり、配送可能エリアが広がることも期待されます。

(上田コールド(株)へのヒアリングより H27.2)

【企業活動の支援に関するコメント】

・山陰道の利用により、配送時間の短縮、振動の軽減による商品破損が減少しており、効率的な配送が可能となりました。

(大山乳業農業協同組合へのヒアリングより H26.12)

・開通後は時間短縮が図られ、走行性・快適性も向上したので、“円滑な物流”が実現されました。

・具体的には、「ドライバーの拘束時間の短縮」、「燃費向上」や「確実な搬送」などのメリットが挙げられます。

(上田コールド(株)へのヒアリングより H26.12)

(1) 企業活動の支援③

～山陰道（赤碕中山IC～名和IC）の整備効果～

- ・山陰道の整備に伴い沿線地域では**工業団地では分譲率が向上**。
- ・山陰道によるアクセス向上は、**沿線地域の企業誘致に貢献**。



【米子流通団地に関するコメント】

・山陰道の整備が進んだことにより米子流通業務団地の立地上の優位性が増し、施設の移転や増設に伴う問い合わせが増えました。



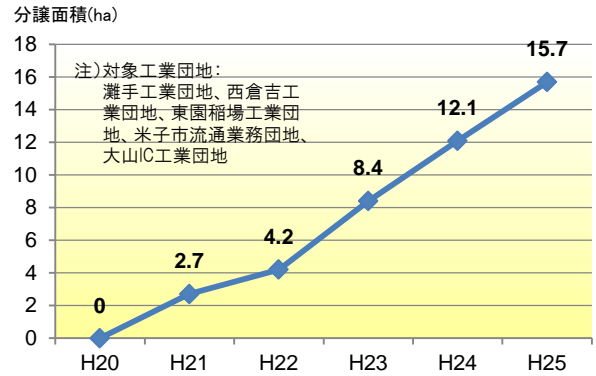
(米子市建設部建設企画課へのヒアリングより H26.11)

出典)鳥取県商工労働部、立地戦略課

山陰道沿線地域で進む企業進出

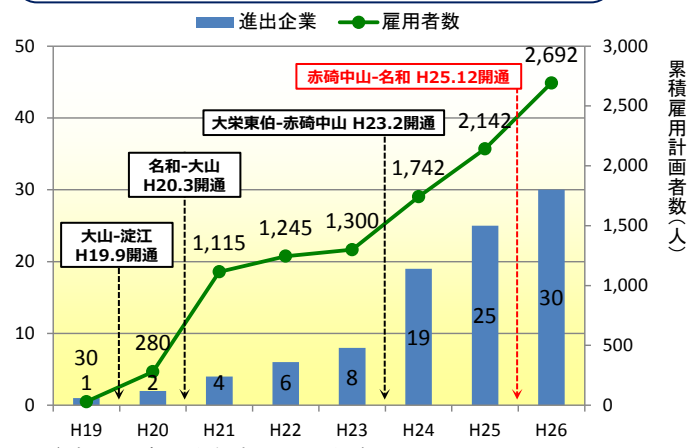
・山陰道沿線地域では工業団地の分譲が進んでいます。

【H20以降における沿線工業団地の分譲面積】



出典:鳥取県商工労働部からの提供資料より

山陰道沿線自治体*の企業進出状況(H19以降累積)



出典)鳥取県商工労働部、立地戦略課
※対象市町村:米子市、倉吉市、湯梨浜町、琴浦町、大山町、北栄町

【企業進出に関するコメント】

○山陰道に近接した位置は、山陽方面、島根方面、鳥取方面へのアクセスが良かったため移転しました。
○なお、運送業では、アクセスが良いことが、燃料節約(燃費向上)につながります。



(上田コールド(株)へのヒアリングより H26.12)

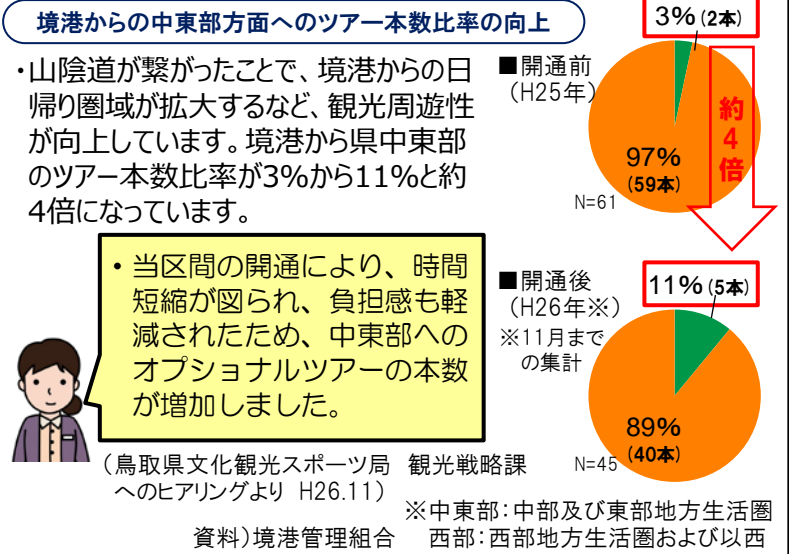
(2) 広域周辺観光①

～山陰道（赤碕中山IC～名和IC）の整備効果～

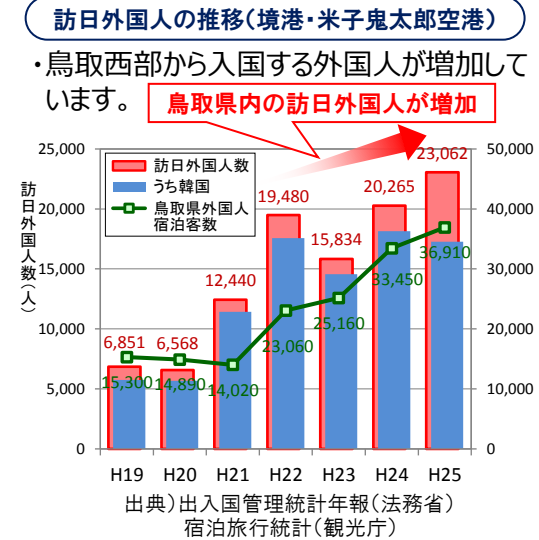
- ・境港に寄港するクルーズツアーからの**日帰り圏域が拡大し、開通前後で県中東部(倉吉方面)へのツアー割合も増加。**
- ・また、境港および米子鬼太郎空港から入国する外国人も増加し、**鳥取県中部を訪れる外国人観光客もあわせて増加。**



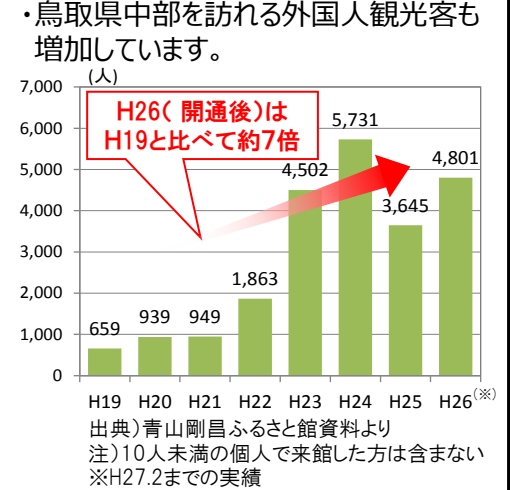
観光周遊ルート（日帰り圏域）の拡大



外国人観光客の増加



青山剛昌ふるさと館(海外入館者の推移)



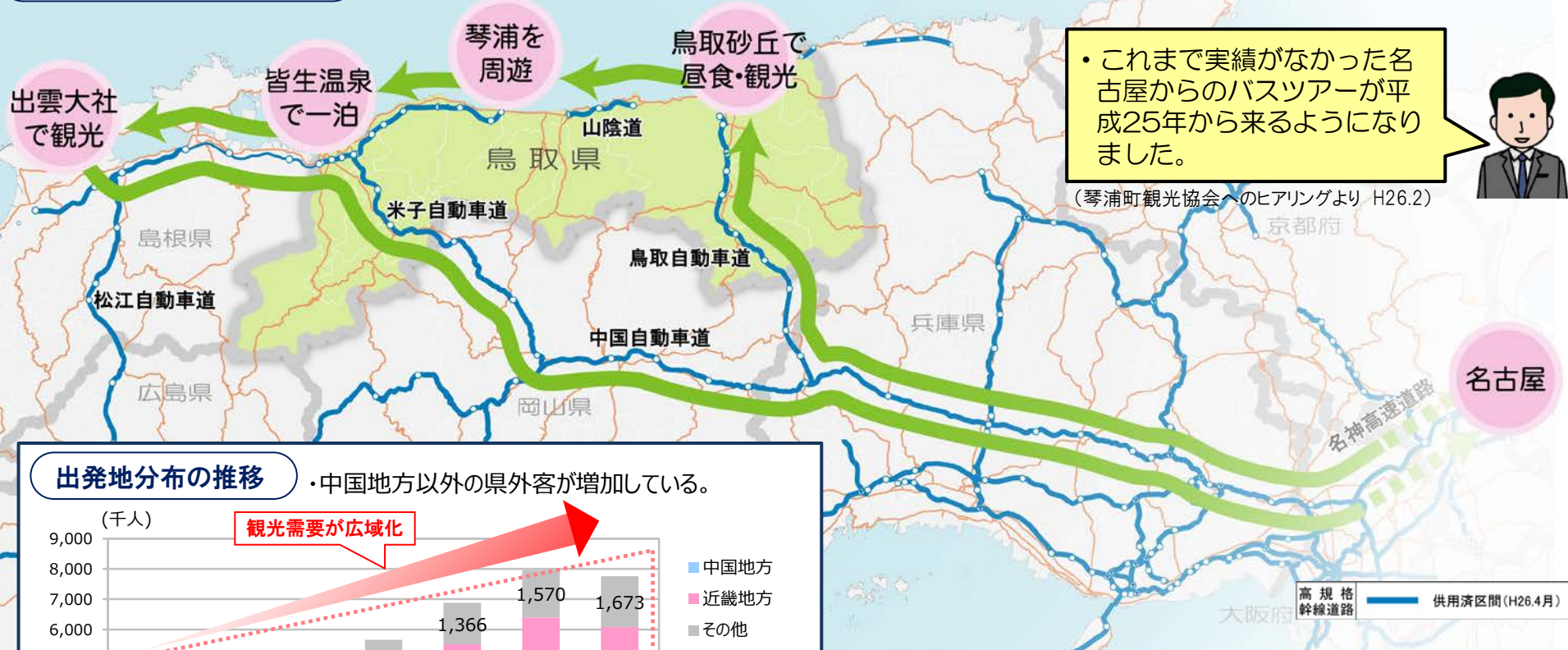
(2) 広域周辺観光②

～山陰道（赤碕中山IC～名和IC）の整備効果～

- ・関西方面等からの観光入込客数が増加しており、**観光需要が広域化**。
- ・鳥取自動車道及び山陰道の開通により、これまで実績のなかった名古屋からのバスツアーも始まるなど、今後、**高速道路の整備によるツアールートが多様性が期待**。

観光ツアールートが多様性

■ 鳥取自動車道・山陰道が整備されて、新たなツアールートが組まれた事例（琴浦町観光協会ヒアリングより）



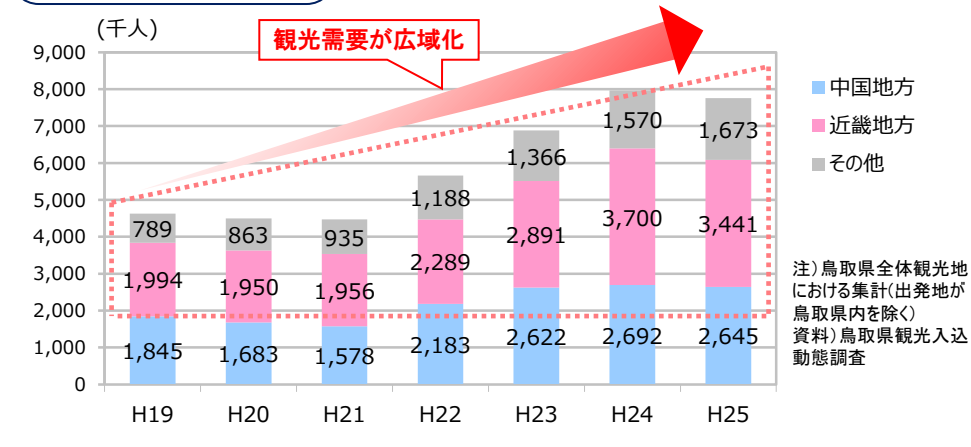
・これまで実績がなかった名古屋からのバスツアーが平成25年から来るようになりました。

(琴浦町観光協会へのヒアリングより H26.2)



出発地分布の推移

・中国地方以外の県外客が増加している。



・県外からの観光客の方には、安心、分かり易い、走りやすいルートが良いので、山陰道がつかえることが重要です。



(鳥取県文化観光局観光政策課 のヒアリングより H26.2)

(3) 日常生活の利便性・安全性の向上①

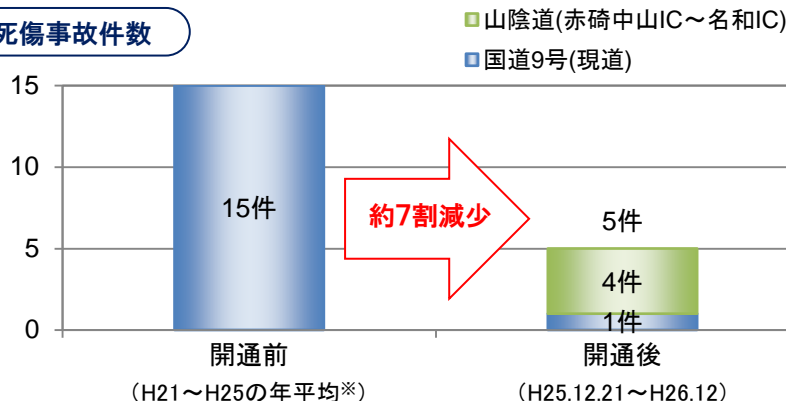
～山陰道（赤碕中山IC～名和IC）の整備効果～

- ・山陰道と国道9号(現道)の死傷事故が年間平均で**約7割減少**。
- ・また、国道9号(現道)の渋滞がなくなったことで、交差点等で年間**12件程度発生していた追突事故が開通後は0件**。

死傷事故件数の減少

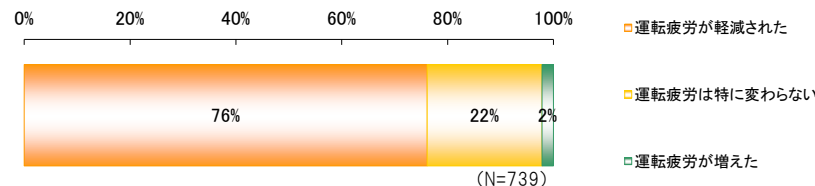
・開通により、死傷事故件数が約7割減少しました。

死傷事故件数



走行快適性の向上

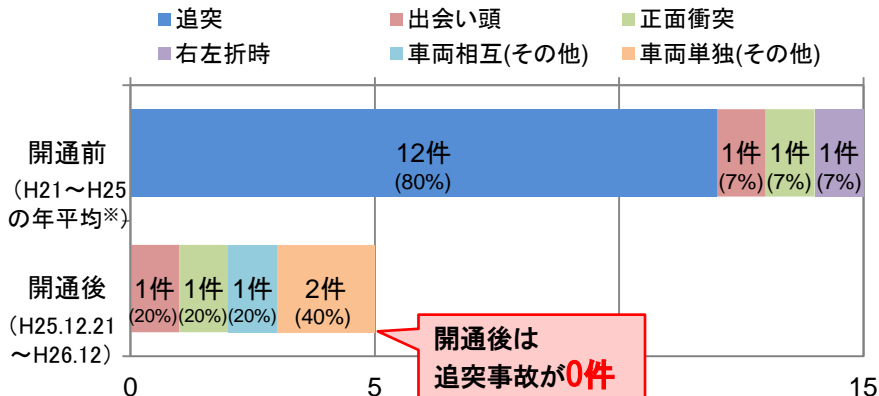
・開通により、約8割の自動車利用者は運転疲労が軽減したと感じています。



(住民webアンケートの調査結果より H26.11)

事故発生状況の変化

・開通により、交差点等での追突事故がなくなりました。



安全性の向上

・現道の交通量が減少したことで、通学する小学生の安全性が向上しています。

【歩きやすさに関するコメント】

・通学路周辺では、国道9号の交通量が減りました。これにより、通勤でスピードを出す車や、信号待ちによる渋滞もなくなり、児童が通学しやすく安全になったように感じます。



▲開通後の国道9号(通学路)

(大山町立中山小学校へのヒアリングより H26.12)

【事故発生状況の変化に関するコメント】

・「金屋交差点付近」や、「御来屋駅前交差点付近」においては、山陰道に向かう車両による渋滞が発生した際に追突事故が多発していましたが、開通後は大きな渋滞もなく、追突事故がなくなりました。

(八橋警察署へのヒアリングより H26.11)

(3) 日常生活の利便性・安全性の向上②

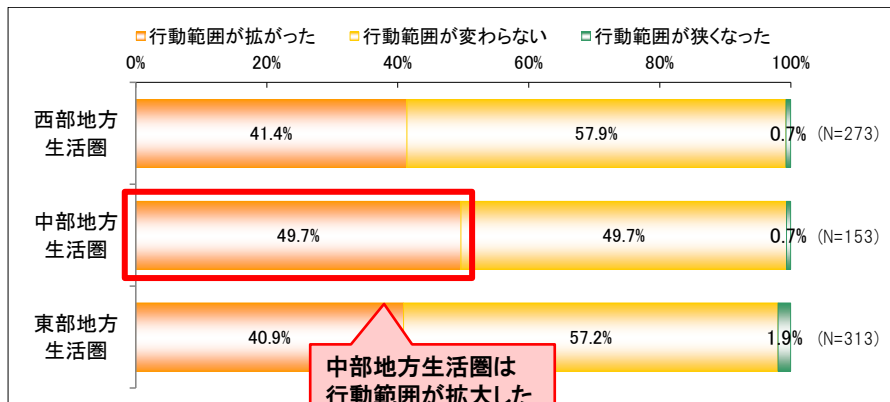
～山陰道（赤碕中山IC～名和IC）の整備効果～

- ・鳥取県内の住民の約4～5割の方が、日常生活において**行動範囲が広がった**と実感。
- ・特に中部地方生活圏では、山陰道の開通前に比べ、米子方面への**買い物の頻度**や、**通院する病院の選択肢が増加**。

日常生活の利便性向上

- ・日常生活の「行動範囲が広がった」割合をみると、鳥取県内では「中部地方生活圏」が約5割と最も高くなっています。
- ・中部地方生活圏では、約2割の方が「買い物する頻度」、約1割の方が「通院する病院の選択肢」が増えたと感じています。

行動範囲の拡大



通院する病院の選択肢

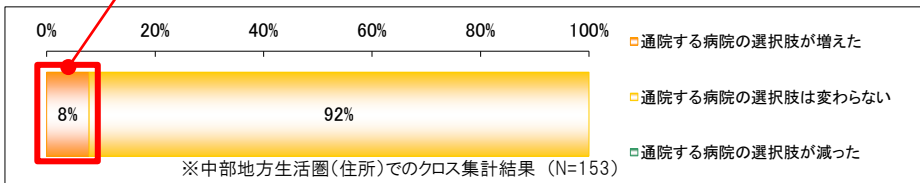
(住民webアンケートの調査結果より H26.11)

【通院する病院の選択肢に関するコメント】



- ・鳥取大学医学部附属病院に行きやすくなった。…【倉吉市】
- ・鳥取大学医学部附属病院への通院も可能。…【鳥取市】

(住民webアンケートの調査結果より H26.11)



(住民webアンケートの調査結果より H26.11)

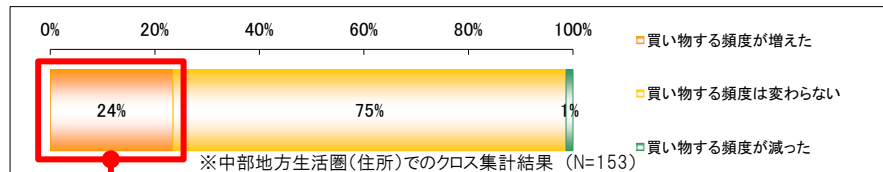
買い物する頻度

【買い物する頻度に関するコメント】



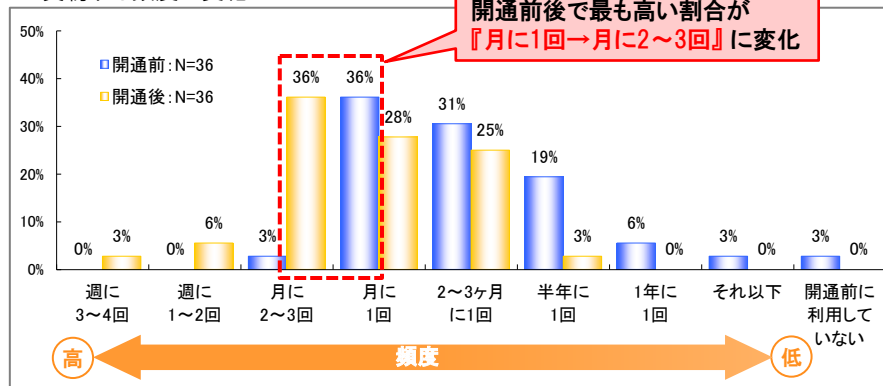
- ・毎週、米子にでかけるようになった。…【倉吉市】
- ・往復の時間が短縮できる為、短時間でも出るようになった。…【琴浦町】
- ・県外に贈り物をするために、果物のほかに水産物を選ぶようになった。…【北栄町】
- ・米子が近くに感じる。…【倉吉市】
- ・遠距離でも買い物できる。…【北栄町】

(住民webアンケートの調査結果より H26.11)



(住民webアンケートの調査結果より H26.11)

■買物する頻度の変化



注) グラフの構成比率は、表示桁数の関係で、合計が100%とならない場合がある

(3) 日常生活の利便性・安全性の向上③

～山陰道(赤碕中山IC～名和IC)の整備効果～

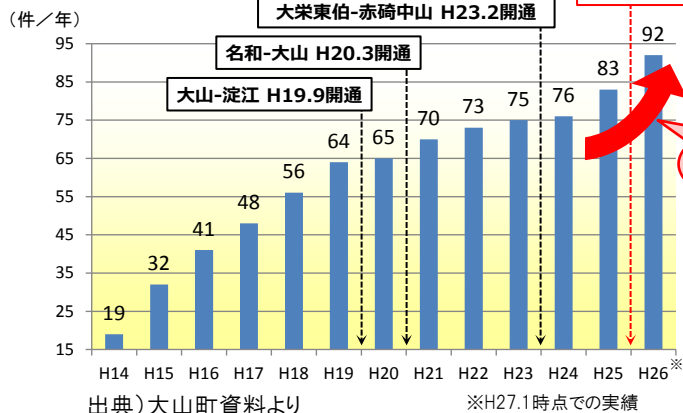
- ・中山ICに近接したナスパルタウンでは、特に**開通前後の購入者が増加傾向**。
- ・ナスパルタウンを購入した理由として、「**山陰道(中山IC)が近いためアクセスが便利**」も挙げられている。
- ・大山町内からの転入に次いで、**鳥取県外から約3割転入**。

ナスパルタウンの概要

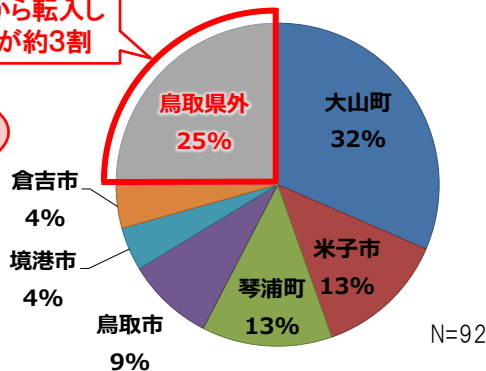
場 所	大山町赤坂なかやま温泉南側
分譲区画	110区画
販売開始日	平成14年12月1日(日)
若者移住定住対策事業	100万円助成※ (※山陰道大山町全線供用開始の記念事業として実施。ただし、対象者の条件あり)



ナスパルタウンの年度別販売実績(累計)



ナスパルタウンへ転入する前の住居地



県外から転入した方が約3割

開通前後で購入者が増加

【ナスパルタウン(土地)を購入した理由】

- ・子育てをする環境が整っている
→大山町が行っている子育て支援が充実している
→保育園、小中学校と近い
- ・移住定住促進助成金の100万円
- ・**山陰道中山ICが近いことによりアクセスが便利**

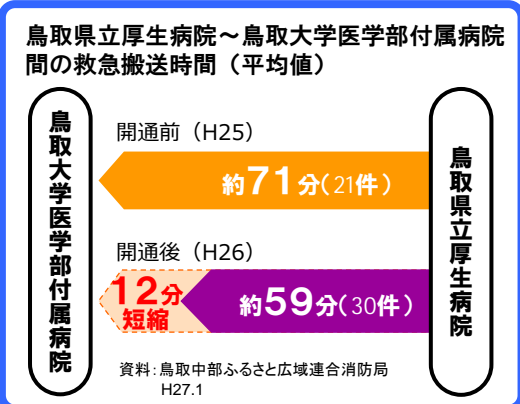
出典)大山町資料(住民ヒアリングより)H27.2



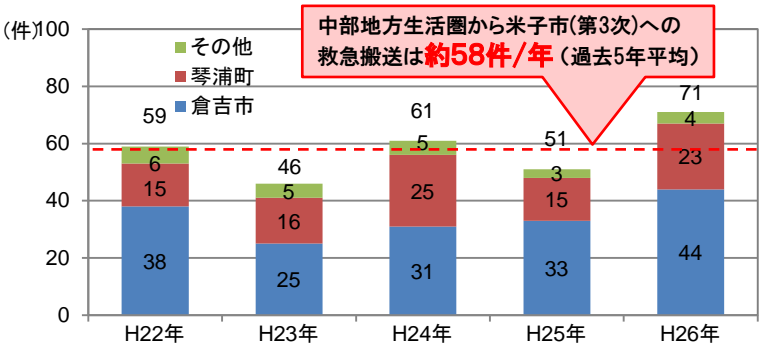
(4) 救急活動の支援

～山陰道（赤碕中山IC～名和IC）の整備効果～

- ・倉吉市内の鳥取県立厚生病院から第三次医療施設である鳥取大学医学部付属病院までの転院搬送時間が**約12分短縮**。
- ・また、**搬送時間の短縮**とともに、**患者への負担軽減**にも貢献。



中部地方生活圏から米子市の第3次医療施設への搬送実績(管外搬送)



患者への負担軽減

・救急搬送の際、山陰道を利用することで、患者への負担も軽減しました。

【患者への負担軽減に関するコメント】



- ① 急カーブや段差が無く振動が少ないため、患者の負担軽減となります。
- ② 開通に伴い交差点や道路状況での加速・停車がなくなったことで、患者への負担軽減に繋げることができました。

(①：鳥取県西部広域行政管理組合 大山消防署中山出張所へのヒアリングより H26.11)
 (②：鳥取中部ふるさと広域連合消防局 東伯消防署へのヒアリングより H26.11)

救急搬送時間の短縮

・開通により、西部・中部の消防署ともに、救急病院や現場（傷病発生）までの搬送時間が短縮したと感じています。

【搬送時間に関するコメント】



- ① 県西部から中部が繋がり、一般国道に比べ道路状況も良く渋滞・信号が無いいため、搬送時間の短縮を感じています。
- ② 開通前は米子市内の医療機関へ行く際、赤碕中山ICから一旦降りて国道9号を走行し、再度名和ICから進入して搬送するような迂回搬送をしていました。そのため、当該区間の開通に伴い、米子市内への救急搬送は、迂回がなくなったため時間短縮ができました。

(①：鳥取県西部広域行政管理組合 大山消防署中山出張所へのヒアリングより H26.11)
 (②：鳥取中部ふるさと広域連合消防局 東伯消防署へのヒアリングより H26.11)

～山陰道（赤碕中山IC～名和IC）の整備効果～

- ・開通から約1年後の山陰道（赤碕中山IC～名和IC間）の利用交通量は、平日約13,200台／日～約15,200台／日。
- ・当該地域を移動する交通の約7～8割（大型車は約9割）が山陰道を利用しており、国道9号の交通が分散。
- ・なお、前後の区間においても高速ネットワークが連続したことで、山陰道に交通が転換。

